

パネルディスカッション5

「高齢者・フレイルに対する消化管癌診療の課題と対策」

司会 鍋谷 圭宏（千葉県がんセンター食道・胃腸外科）

佐藤 弘（埼玉医大国際医療センター消化器外科）

フレイルやサルコペニアを併存していることの多い高齢者の消化管癌の診療とくに外科治療は最近では避けて通れない。これらのリスク因子をどのように克服して診断・治療を行うか、また治療後に新たなフレイルやサルコペニアの発生をいかに予防するのか、外科治療だけでなく内視鏡治療や薬物・放射線療法も含めて、予後向上のための各施設の工夫をご発表いただき、高齢化社会における消化管癌診療の指針になる討論を期待したい。